



< 市町村探訪 >

「歓交地を目指したまちづくり」

(真壁町)

真壁町の概要

真壁町は県の中西部、筑波山系の西部に位置し、関東の名峰筑波山、加波山、足尾山の山々が立ち並ぶ自然に恵まれた緑豊かな町です。また、国指定史跡「真壁城跡」や国指定伝統的工芸品「真壁石燈籠」の名が示すように、歴史と石の町として栄え、平成11年より中心市街地に数多く残る歴史的建造物を国の登録文化財として申請し、現在104件の登録・答申を受け、全国町村第一位の数を誇っています。

都市計画の歴史

歴史的建造物が多く残る大字真壁地区は、浅野長重によって今から約400年前に“まち割り”が完成されたと伝えられています。浅野長重は浅野長政の三男で、浅野長政が隠居料としてもらった真壁地域を相続した人物であり、浅野分家と呼ばれ忠臣蔵で有名な浅野匠頭長矩は浅野長重の直系の曾孫に当たります。



潮田家住宅・見世蔵 / 明治43年

その当時、整備された道路の道筋や幅員は、現在までの調査で4カ所の改修跡が見られるだけで、ほぼ当時のままに使われています。

私有地についても、道路に面した部分の長さが短く、奥行きが長いという江戸期特有の区割りを残した土地が多く、家屋の配列も道路に面した部分から、見世・住居・中庭・蔵という江戸期の配列と同じにしています。

まちづくりの経緯

1 まちづくり団体の活動

真壁町には数多くのまちづくり団体があり、そのうち一番活動期間が長いのは「ディスカバー真壁」という団体です。フォトコンテストや蔵のコンサートを実施し、住民に歴史的景観の保存を啓発することを目的として活動しています。一昨年は、県・町と共催で「蔵シンポジウム in 真壁」を開催し、県外からもたくさんの参加者を集めました。

一方、所有者という視点から歴史的建造物の保存・活用を図るため、所有者が中心となり登録文化財を活かす会を結成し、歴史的建造物の保存の方策を検討しています。

また、商工会では平成12年度から商工業等広域連携等地域振興対策事業に取り組み、歴史的資源を活用した商工業の振興を掲げ、これに基づいて事業を展開しています。特に平成13年度は御陣屋前通り（歴史的建造物が集積している通り）でワークショップを多く開催し、導入すべき店舗や将来の通りのイメージ、旧真壁郵便局の活用方策などを取りまとめました。

ほかにも商店会連合会が町屋を借り無料休憩所にしたり、石材業等の異業種と連携してイベントを実施したりと、ここ数年は住民の活動が盛んになり、住民が主体となって各種事業を展開しています。



2 真壁町の取り組み

平成11年度より国の登録文化財制度に取り組み、歴史的建造物の保存・活用を図っています。これまで毎年15棟前後の調査を実施し、全国町村第1位の件数を誇っています。さらに、今年度からは歴史的建造物や地割り区割りといったものまで含めた地域全体の保存活用を図るため、伝統的建造物群保存対策調査に取り組んでいます。

また、平成12年度に県が行政担当者の研究会である「歴史的資源を活用した地域振興研究会」を発足させ、検討結果を取りまとめ、平成13年度には県と共同で住民代表、学識経験者を含めた「蔵と歴史の調査検討委員会」が設置され、地域資源を活用したまちづくりの調査検討を行いました。平成14年度以降は、蔵と歴史の調査検討委員会の報告書をもとに住民とともに事業を進めているところです。

今後の展開

平成16年度から5カ年間で、対象区域を196haとしたまちづくり交付金事業に取り組み、基幹事業として道路の美装化、来訪者のための駐車場の整備、案内板の設置、公衆トイレの整備を行うとともに、提案事業として一方通行の社会実験、講演会の開催、情報提供活動、旧真壁郵便局を民間主体で運営させるための管理運営実験、中心市街地の空き店舗解消のためのチャレンジショップ店舗借り上げ等を行う計画です。

また、同時進行で身近なまちづくり支援街路事業調査事業を開始し、歴史的景観にマッチした道路の整備や、電線類の地中化等の道路のアップグレード計画、都市計画道路の見直し等に取り組んでいます。

3 真壁町の目指すもの

歴史的景観の保全をまちづくりの中心に据えている自治体担当者の多くが「観光地を目指しているわけではない」と言います。真壁町も「住んで住みやすく、誇りの持てる」というコンセプトのもと、各種事業を展開し、まちづくりに対する住民意識の高揚と、理解を深めるための施策を展開しています。

かといって観光客を無視するののかと言えばそういうわけではなく、地域住民が来訪者と交流することによって、まちづくりのヒントが得られたり、地域住民の意識向上につながることから、積極的にこれを進めるべきかと思われま。

まちづくりは地域住民のものであって、観光客のためのものではないという基本理念はこれからも持ち続けたいと思っております。



真壁のひなまつり

～今回は、真壁町企画課まちづくり振興室から
ご寄稿いただきました。～

問い合わせ先

真壁町役場 企画課まちづくり振興室

TEL 0296-55-1111 FAX 0296-54-0417



旧真壁郵便局 / 昭和2年